



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 東  
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	70,362	8.2	9,910	2.3	10,727	△0.6	6,467	△0.4
27年3月期第2四半期	65,046	0.2	9,688	△4.0	10,791	△0.6	6,491	5.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,013百万円 (△35.8%) 27年3月期第2四半期 6,251百万円 (9.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	111.85	111.82
27年3月期第2四半期	111.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	177,631	109,692	61.0
27年3月期	180,312	110,264	60.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 108,428百万円 27年3月期 109,049百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
28年3月期	—	54.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	54.00	108.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成27年11月6日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	142,500	7.1	20,700	8.7	22,500	6.7	13,300	△2.6	230.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、【添付資料】P. 5「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	57,634,200株	27年3月期	58,025,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,963株	27年3月期	2,879株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	57,826,375株	27年3月期2Q	58,093,822株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
(2) 追加情報 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日、以下「当第2四半期」という）におけるわが国経済は、中国を中心とした新興国経済の減速による影響はあるものの、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善に加え、訪日外国人の増加が消費回復を後押しするなど、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場は依然として漸減傾向で推移するものの、カラオケボックス市場では、大手事業者の積極出店により緩やかながら増加傾向が継続しております。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は僅かながら増加傾向で推移しております。

この様ななか、各事業におきましては諸施策を実施した結果、当第2四半期の業績は、売上高は70,362百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は9,910百万円（同2.3%増）、経常利益は10,727百万円（同0.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,467百万円（同0.4%減）となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	65,046	70,362	5,315	8.2%
営業利益	9,688	9,910	222	2.3%
経常利益	10,791	10,727	△63	△0.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,491	6,467	△24	△0.4%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (業務用カラオケ)

当事業におきましては、4年半ぶりとなるフラッグシップ新商品「LIVE DAM STADIUM」を4月に発売しました。スタジアムライブを彷彿する圧倒的な迫力や臨場感を実現する「ライブサウンド」と、業界初の「デュアルモニター」機能搭載によって進化した「音」と「映像」への市場注目度が高く、想定を上回る好調な受注により市場投入は順調に推移いたしました。

また、安定的な収益基盤の強化を目指し、機器賃貸の出荷比重を高めるなか、DAM稼働台数の増加に努めることに加え、成長分野として注力しているエルダー市場についても、稼働台数が堅調に増加いたしました。

以上の結果、新商品の発売により販売が好調に推移したことに加え、機器賃貸件数及びDAM稼働台数が順調に増加したことにより、機器賃貸収入および情報提供料収入が着実に増加し、売上高は前年同期比10.0%増加となりました。利益面におきましては、機器賃貸の先行コストが増加したものの、営業利益は前年同期比9.6%の増加となりました。

(百万円)

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	32,056	35,247	3,190	10.0%
営業利益	7,244	7,941	696	9.6%

（カラオケ・飲食店舗）

当事業におけるカラオケルームにおきましては、4月に近畿・中部地域等でチェーン展開する店舗の事業買収に加え、積極的な新規出店に注力いたしました。また、店舗の差別化を図るため、ルーム内の音響や映像の強化に注力する一方、女子会などグループパーティーなどの一次会需要を取り込むため、パーティーコースの充実とレストランルームの増設に努めました。飲食店舗におきましては、顧客満足度の向上を図るため、提供するサービスの向上を目指し、エリア別に教育店舗を設置するなど、従業員教育の強化に努めました。

以上の結果、売上高は前期に出店した店舗の売上寄与に加え買収した新店の寄与もあり、前年同期比8.2%増加となりましたが、営業利益は新規出店等による先行コストの増加と、入替え導入を推進した新商品「L I V E D A M S T A D I U M」及びのれんの償却負担増の影響もあり、前年同期比14.6%の減少となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	25,278	27,348	2,069	8.2%
営業利益	3,229	2,757	△472	△14.6%

（音楽ソフト）

当事業におきましては、「水森かおり」や「三山ひろし」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「筋肉少女帯」などの作品が貢献する一方、音楽配信がやや改善の兆しが見えたものの、音楽CD離れの風潮が加速するなど、事業環境は依然厳しい状況で推移しております。

以上の結果、売上高が前年同期比3.5%減少したことにより24百万円の営業損失となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	4,484	4,325	△158	△3.5%
営業利益	33	△24	△57	—

（その他）

当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」とコンシューマー向けストリーミングカラオケサービスの拡販に努めるほか、不動産賃貸、パーキング事業などが堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は不動産賃貸収入等の増加により前年同期比6.6%増加し、営業利益はコスト低減効果などにより前年同期比29.3%の増加となりました。

（百万円）

	前第2四半期 累計	当第2四半期 累計	対前期増減	増減率
売上高	3,227	3,441	213	6.6%
営業利益	568	735	166	29.3%

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,681百万円減少し、177,631百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,367百万円増加し、現金及び預金が7,011百万円及び受取手形及び売掛金が995百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケ賃貸機器が2,127百万円、カラオケルーム及び飲食店舗設備が1,684百万円及び土地が1,209百万円それぞれ増加し、投資有価証券が3,665百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ2,109百万円減少し、67,938百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、支払手形及び買掛金が778百万円増加し、その他に含まれる未払金が2,489百万円及び未払法人税等が831百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、その他に含まれる長期未払金が801百万円増加し、役員退職慰労引当金が1,242百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ571百万円減少し、109,692百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加6,467百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少2,901百万円、その他有価証券評価差額金の減少2,473百万円及び自己株式の取得による減少1,700百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6,996百万円減少し、53,011百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益が10,367百万円、減価償却実施額が7,429百万円及び法人税等の支払額が5,049百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ1,029百万円増加し、12,472百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が10,014百万円、無形固定資産の取得による支出が1,700百万円、事業譲受による支出が1,577百万円及び映像使用許諾権の取得による支出が1,421百万円等により、前年同四半期連結累計期間に比べ4,515百万円増加し、15,320百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、配当金の支払額が2,901百万円、自己株式の取得による支出が1,700百万円、長期借入金の返済による支出が1,285百万円及び長期借入れによる収入が1,460百万円等により、4,100百万円（前年同四半期連結累計期間は7,071百万円の獲得）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準等第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (2) 追加情報

（役員退職慰労引当金）

当社は、平成27年5月18日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成27年6月19日開催の定時株主総会において、本総会終了後に在任する役員については、これまでの在任期間に応じた退職慰労金を各役員の退任時に支給することが承認可決されました。

これにより、当社の役員退職慰労引当金801百万円を全額取り崩し、固定負債のその他に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,747	52,735
受取手形及び売掛金	7,016	6,021
たな卸資産	6,933	6,350
その他	6,363	8,144
貸倒引当金	△139	△125
流動資産合計	79,920	73,126
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器（純額）	9,262	11,390
カラオケルーム及び飲食店舗設備（純額）	17,236	18,920
土地	26,339	27,549
その他（純額）	5,554	6,055
有形固定資産合計	58,393	63,915
無形固定資産		
のれん	1,235	2,101
その他	6,350	5,908
無形固定資産合計	7,585	8,010
投資その他の資産		
投資有価証券	13,263	9,598
敷金及び保証金	14,392	14,562
その他	6,844	8,502
貸倒引当金	△87	△83
投資その他の資産合計	34,413	32,578
固定資産合計	100,392	104,505
資産合計	180,312	177,631



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,723	5,502
短期借入金	3,949	4,292
未払法人税等	5,007	4,176
賞与引当金	1,063	1,534
その他	12,702	9,697
流動負債合計	27,446	25,202
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	23,161	23,344
役員退職慰労引当金	2,426	1,184
退職給付に係る負債	4,780	5,010
その他	2,233	3,195
固定負債合計	42,602	42,735
負債合計	70,048	67,938
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	93,439	95,310
自己株式	△8	△12
株主資本合計	109,782	111,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	△2,155
土地再評価差額金	△733	△733
為替換算調整勘定	210	151
退職給付に係る調整累計額	△528	△482
その他の包括利益累計額合計	△733	△3,220
新株予約権	-	27
非支配株主持分	1,215	1,236
純資産合計	110,264	109,692
負債純資産合計	180,312	177,631

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	65,046	70,362
売上原価	38,535	43,190
売上総利益	26,511	27,172
販売費及び一般管理費	16,823	17,261
営業利益	9,688	9,910
営業外収益		
受取利息	526	411
その他	786	752
営業外収益合計	1,312	1,164
営業外費用		
支払利息	138	170
その他	71	177
営業外費用合計	209	347
経常利益	10,791	10,727
特別利益		
固定資産売却益	14	8
投資有価証券売却益	173	-
特別利益合計	187	8
特別損失		
固定資産処分損	159	160
減損損失	0	208
特別損失合計	159	368
税金等調整前四半期純利益	10,819	10,367
法人税、住民税及び事業税	4,685	4,233
法人税等調整額	△387	△367
法人税等合計	4,298	3,866
四半期純利益	6,521	6,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,491	6,467

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	6,521	6,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△361	△2,473
為替換算調整勘定	41	△59
退職給付に係る調整額	49	46
その他の包括利益合計	△269	△2,486
四半期包括利益	6,251	4,013
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,221	3,981
非支配株主に係る四半期包括利益	29	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,819	10,367
減価償却費	6,554	7,429
減損損失	0	208
賞与引当金の増減額(△は減少)	390	471
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	△1,242
受取利息及び受取配当金	△617	△488
支払利息	138	170
投資有価証券売却損益(△は益)	△173	-
固定資産処分損益(△は益)	144	151
売上債権の増減額(△は増加)	503	963
たな卸資産の増減額(△は増加)	413	583
カラオケ賃貸機器の売上原価振替	135	83
仕入債務の増減額(△は減少)	△446	800
未払金の増減額(△は減少)	△16	△1,399
その他	△1,471	△930
小計	16,386	17,167
利息及び配当金の受取額	610	525
利息の支払額	△135	△171
法人税等の支払額	△5,418	△5,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,442	12,472
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期性預金の預入による支出	△140	△417
定期性預金の払戻による収入	198	56
有形固定資産の取得による支出	△7,693	△10,014
有形固定資産の売却による収入	20	23
無形固定資産の取得による支出	△2,052	△1,700
映像使用許諾権の取得による支出	△985	△1,421
投資有価証券の取得による支出	△5,044	-
投資有価証券の売却による収入	5,224	-
事業譲受による支出	-	△1,577
貸付けによる支出	△175	△299
貸付金の回収による収入	345	336
敷金及び保証金の差入による支出	△665	△365
敷金及び保証金の回収による収入	219	251
その他	△54	△190
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,804	△15,320
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	207	350
長期借入れによる収入	11,430	1,460
長期借入金の返済による支出	△1,907	△1,285
配当金の支払額	△2,037	△2,901
自己株式の取得による支出	△603	△1,700
その他	△18	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,071	△4,100
現金及び現金同等物に係る換算差額	66	△46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,775	△6,996
現金及び現金同等物の期首残高	44,381	60,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,156	53,011

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報  
前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	32,056	25,278	4,484	61,819	3,227	65,046	—	65,046
セグメント利益 (営業利益)	7,244	3,229	33	10,507	568	11,075	△1,387	9,688

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△1,387百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	35,247	27,348	4,325	66,921	3,441	70,362	—	70,362
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益又は営業 損失(△))	7,941	2,757	△24	10,673	735	11,408	△1,498	9,910

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BGM放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失の調整額△1,498百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。